別紙3

Ⅱ　年間指導計画

本校のめざす学校像	・児童が学びたいと思う学校 ・教師が働きがいのある学校 ・保護者が通わせたい学校 ・地域が協力したくなる学校
育てたい児童像	・目を見て返事と挨拶 ・考えを持ち進んで行動 ・夢や志を抱き、仲間と支え合い成長できる子

学校教育目標	生命と人間尊重の精神を大切にし、 知・徳・体の調和のとれたこころ豊かな児童の育成 ～　夢に向かって挑戦する東栗栖っ子　～

いじめ対応チーム　：　校長　教頭　生活指導担当　主幹教諭　養護教諭
＊状況に応じて関係職員等も含めて編成

《年間指導計画》

	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組
4月	職員会 ※1	学級経営計画の作成 第1回児童集会	地区児童会①
5月	第1回子どもを語る ※2	運動会集団演技 （運動会）	地区別集会（月1回）
6月	小中連絡会 生活指導委員会（毎月）	縦割り遊び（児童会）	
7月	第2回子どもを語る会	情報モラル教育① 校区巡回指導 第2回児童集会	こころのアンケート ※3 校外地区児童会 個別懇談会
8月	職員研修 保幼小連絡	校区巡回指導 カウンセリングマインド研修 ※4	
9月	職員会議	学級経営・人権教育・学級活動 ＊	地区児童会② 悩み相談箱（通年）
10月		情報モラル教育② （自然学校・修学旅行）	地区別集会（月1回）
11月		（青空フェスティバル）	
12月	第3回子どもを語る会		こころのアンケート 地区児童会③
1月	学校評価結果の検証		地区児童会④ 学校評価
2月	第4回子どもを語る会	情報モラル教育③	
3月	認定職員会議 小中連絡会	第3回児童集会 （6年生を送る会）	こころのアンケート 地区児童会⑤

未然防止、早期発見に向けて

1　すべての教職員が、いじめ問題の重要性を認識する。
2　いじめ対策委員会を中心に、定期的に未然防止に向けた取組を行う。
3　各個人の様子を日常的に情報交換を行い、具体的な指導の留意点について職員会議や、職員研修会等で取り上げて共通理解を図る。
4　各担任や生活指導担当が、いじめの問題を一人で抱え込むことなく、報告・連絡・相談を確実に行い、学校体で組織的に対応する。

～危機管理の要諦より～
迅速性
柔軟性
応変性

※1　職員会議
いじめ防止基本方針を確認し、指導方針や指導計画を提示し、全教職員で共通理解を図る。

※2　子どもを語る会
教室での学習の様子や遊び時間・掃除時間及び専科の学習等での活動の様子や友だち関係に気を配るとともに、他の教職員と児童の様子について情報交換を行い、気になる様子については積極的に状況を把握する。

※3　こころのアンケート
学期に1回、いじめの実態把握と生活を中心とした児童の実態把握に努め、職員間で共通理解を図る。

※4　カウンセリングマインド研修
ロールプレイ等、研修の実施の仕方を工夫するなど効果的な研修を実施する。

※5　学級経営・人権教育・学級活動
年間を通して、学級や学年の人間関係づくりについて学級活動等で学習するとともに、様々な体験活動を実施する。